



2025年12月3日

各 位

会社名 株式会社ビースタイルホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 三原 邦彦  
(コード番号: 302A 東証グロース市場)  
問合せ先 取締役会長 増村 一郎  
(TEL 03-5363-4400)

## 2026年3月期 第2四半期決算 質疑応答集

2025年11月14日に公表した当社の2026年3月期 第2四半期決算等に関し、株主・投資家の皆さまより頂戴したお問合わせとご意見及び当社で想定しております項目をご紹介いたします。本開示は市場参加者のご理解を深めることを目的と実施するものです。ご理解いただきやすいよう、一部内容の加筆・修正を行っております。

Q： 売上総利益率が高まっている理由について教えてください。

A：粗利率の高い「しゅふ JOB」領域のメディア事業が、足もとで急成長・急拡大していることが主因でございます。これにより、全体として売上総利益率が押し上げられる結果となっております。

Q： 看護・介護領域で新規事業を開始した背景について教えてください。

A：看護・介護領域におきましては、全国的に人手不足が一段と深刻化しております。また、女性の約4人に1人が、医療・介護・福祉といったソーシャルワーク領域で就業しているという背景もございます。当社として「しゅふ JOB」の強化を進めるうえで、これらの領域は極めて親和性が高く、今後さらに強化すべき重要分野と位置づけております。

派遣・紹介事業におきましても、看護・介護領域を重点職種として取り組みを拡大してまいります。あわせて保育領域についても事業展開を進めておりますので、その点についても付け加えさせていただきます。

Q：今期業績を上方修正しない理由として、下期に回す費用とは具体的にどのようなものを想定しているのでしょうか。上期に続き、下期も広告投資は増加させる計画でしょうか。

A：現時点では上方修正を行っていないのは、上半期に計画していた各投資・費用が単純に後ろ倒しされたため、今後下半期に追加的に発生が見込まれる支出があること、足元での効果及び業績動向を見ながら成長加速を優先して戦略的に追加投入の可否を判断すべき支出があることによるものです。具体的には、前者としては、業務効率化に向けたシステム投資に関連するITインフラ・ツールに関する費用や外注費、人材採用に伴う追加的な人件費及び採用コストの発生時期・発生額の不確実性、足元での売上貢献効果を見極めながらきめ細かいマーケティングプランの実施を要する募集広告費等、後者としては、来期以降の成長加速への先行投資と今期での利益水準とのバランスを取りながら投資意思決定をする必要があるしゅふJOBの認知広告等が挙げられます。これらの要素を総合的に踏まえ、現時点では通期業績に与える影響を慎重に見極めている段階であり、一旦は現行の業績予想を据え置いております。

以上